

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

April 2023

Écoutez Bien Vol.39 No.457

4

国文研だから、リケジョ!

表紙／花ふぶき(残堀川)



Let's GO DICE



新メンバー紹介

若い力が爆発します！

イケメンが揃っていると言われる立川ダイス
またまたイケメン、増えました
もちろんパワーも増えています
期待してください、これからのダイス！

今回はシーズンロスターの途中ですが、新規参入した2人を紹介しましょう。まず2月4日の静岡戦から参戦しているNo.11元澤誠（もとざわせい）選手。兵庫県出身。東海大学をこの春卒業します。184cm 75kg。長い腕をフルに使ったディフェンスが得意だそうです。さすが、在学中にプロを経験するメンバーが多いと言われる東海大学！ホーム戦で元澤選手のパフォーマンスをご自分の目でご覧ください。お兄さんも別のチームで活躍中！

次にご紹介するのは外国籍の選手です。No.99 Emondre Rickman（エモンドレ・リックマン）選手。アメリカ出身の26歳。202cm 129kg。ヨーロッパやカナダで活躍してきて、初めての日本。慣れない環境でもチームに溶け込んで頑張っています。2月17日のアウェー八王子戦から参戦中。強い体格で立川ダイスの大黒柱になってくれるでしょう。

2月最終のホームはヴィアティン三重戦でした。2月25日、81-74で勝利し、会場はとてもいい気分。勝つとやっぱり嬉しい。そりゃホームですから。2日目も順調な出だしでした。10点以上のリードをとっても、「セーフティリードではない」とファンもドキドキ。第4Qを終始リードしてきた立川ダイス。安心はしていないけれど、勝てるだろうと思っていました。ところが、スタミナ切れ？どうしたの？声出しOKになった会場の大きな声援も空しく、同点ゴールをとった瞬間、1ゴール決められて、頑張ったけれど一歩及ばず。最後の最後までファンは希望を持っていたのですけれど。ざんね〜ん！でも終わって見たら、10点以上得点した選手が5人もいました。頑張った！とってもアグレッシブで面白い試合でした。ダイスのみんな、ありがとう！

No.11 元澤誠選手



No.99 エモンドレ・リックマン選手



ヴィアティン三重戦の入場者数
2/25 1137名、2/26 1471名でした。

大詰めホーム戦スケジュールはこちら

4/1(土) 17:00 vs 湘南ユナイテッドBC
4/2(日) 14:00
4/8(土) 17:00 vs しながわシティBC
4/9(日) 14:00

リケジョの活躍

国文学に興味をもってもらう入口を作る

面白いインタビュアでした。

ツイッターの再生回数を気にする人が国文研にいらんて。
アナログに見えて実はデジタルでした。

ARで蹴鞠(けまり)する業平君

国文研サイトで
伊勢物語の展示をARで体験できます。

――戸越時代から国文研にいらしたということは、当時から国文研さんではコンピュータを使っていたということですか。

北村 その頃はまだメインフレームしかなくて。世の中的にもパーソナルコンピュータが登場したくらいです。――WindowsとかMacとか。

北村 そうです、そうです。一太郎があったので、ワープロとして使っている方はいました。でも自分の研究に使うという発想はまだありませんでした。国文研に来た頃、グラフィックインターフェースが出た初期で、文字を欧米のように左から右に、上から下にしか打てなかった。テキストをひっくり返して、右から下に表示するということをしたんです。そうしたらある先生が「これだったら身近に感じるなあ」と。コンピュータを敬遠していらした先生だったので、嬉しかったですね。今でも記憶に残っています。

今ではウェブで縦書きも簡単にできるようになりましたが、画像は左から順番が当り前と思っていますよ。卷子やページめくりも右から左に見えますよね、展示順もそうです。これは古典では当り前ですが、ウェブでは常識です。ウェブ開発者には「できません」という人も。「内部インデックスをこう使ってコントロールできますよ」と伝えてきました。

――展示会場で、時々先生をお見かけしました。

北村 立川に移転する前の戸越時代から展示には関わって



北村啓子さん

いう、知りたいところへ自分からという能動的な使い方ができるわけです。そのサポートがしたいと思いました。

――『伊勢物語』の展示では屏風がありましたね。

北村 私はARで三つやっていることがあります、一つは原本に目の前でスマホをかざして観るということ。見せる内容は作りようなので、どういう情報が欲しいかというリクエストに応じていけばいいわけです。高精細の画像を見たいとか、現代語にするとか英訳するとかもそうですね。二つ目は、デジタル展示で見られるようにするということ。先程言った卷子の全部を見せる、ページをめくって全編が

きました。展示には、通常展示と特別展示があります。いずれも従来の展示は現物を並べてお見せするというものでした。戸越の終わり頃からモニターのクオリティが上がってきて、卷子でも冊子でも、一部分だけではなくてビジュアルにもっと見せたい、そこをデジタルで補いたいという思いが私のスタートでした。世の中も4K、8Kを使うようになり、カメラもスキャナーも質が上がってとてもきれいな画像を作れるようになってきた。モニターもそこに追隨してきたんです。原本はここにある。その原本の後も後ろも見たい。卷子なら最初から最後まで開きながら見ているイメージでスクロールする、冊子ならページをめくるように全部自動で。画像があれば（プログラミングせず）誰でも使えるようなプログラムを作りたい、とそんなソフトを作るようになっていきました。

――すごいですね。

北村 でも4K、8Kと言ってもご家庭にはなかなか無いので、国文研にいらつしやれば見られますよと言って、来ないと見られない。そこでARの利用を考えました。世の中で少しARの技術が使



ARで『伊勢物語屏風』を観る

見られるようにして初めて全資料への探求ができるわけです。三つ目にはこれらをごでも見られるようにするということ。インターネット上で皆さんの家でも見られる、パソコンで見られる、観に来て下さった方が図録を持って帰って、その図録にスマホをかざせば同じように情報が出てくる。そういった意味で、メディアが三つ。原本とデジタル展示のモニターに出ている画像、図録の写真でも。画像認識しているの、どのメディアにも対応するわけです。

――国文研って、ものすごく進んでいるじゃないですか。**北村** (笑) ARで楽しんでいただければ、裾野がものすごく広がると思います。時間も空間も越えられます。本当にいつでもどこからでも、世界中から見てもらえるんです。――本当にすごい！と思うのですが、国文研のHPのどこにあるのか探せない。

北村 そうなんです。情報が縦にも横にも増えてくると、欲しい情報がどこにあるのかわかりにくくなるんですね。HPにも寿命があります。――展示でプロジェクトンマッピングを使っている、動くモノに驚きました。

北村 卷子を全部見せたくて、モニターを三台つなげて一枚の画像を見せたこともありました。特別展の時には本物の屏風に対してARを使ったので反響はすごかったです。ウェブ上で記事を書いていたいたり、紹介していただいたり。でもアンケートをとってみると年配の方も多くて、批判的なご意見もあるんですね。最近は何世の世代がお元気でスマホを使いこなしているの、積極的な方も多くいらつしやるのですが、屏風の複製を作って立てておき、そこにスマホをかざして情報を得ていただく一方で、スマホを使えない方のためにはプロジェクトンマッピングで、順番に和歌が出てくるように、あるいは絵がパラパラと出てくるように。立って見ていけば順番に和歌が出てくるし、くずし字が読めなくてもわかるという両方セットでやっています。

――黒壁の上を骸骨が動くもの、ありましたよね。『祈りと救いの中世』の展示の時でしたか。面白かったです。**北村** あれは私の遊び心で作りました。展示全体のイメージが「地獄」とか「あの世」とか、宗教の哲学的なものがあつたり。ですから骸骨は絶対にどこかに出したいと思っただけです。骸骨なのに同じ骸骨のお葬式を出すというような面白い部分を抜き出して、骸骨の画像を反転させてプロジェ

われるようになってきた時、ポケモンGOとかね、町中でスマホをかざす、そうするとそこにポケモンが出てきましたよね。想像以上にARの画像認識能力が高くて、これは使えるなと思ったんです。

――ええ。

北村 色々な展示で番号を入れると音声ガイドが流れたりする、あるいはQRコードがついていて、そこにスマホをかざせば解説が出てくるとかあります。私の考えたのはそれだけではなくて、例えば一つの大きな屏風に色々な絵が描かれてある。その絵一つ一つ、この絵は何？これは何？と興味の対象を能動的に知ろうとすることをサポートしたいと思っただけです。前述のIDとかQRはすでに用意されていて、ここにかざして下さいと言われてかざしたら説明が出るのですから受動的ですよ。そうではなくて、目の前に大きな屏風の現物があつて、その中に描かれている絵を詳しく知りたいと思つたら、デジタルギャラリースコップ（と名付けたのですが）、スマホをかざせば、ものすごく高精細の画像が出てきて、それを手元で大きくするとすごくきれいな画像が見られるわけです。ここをよく見たい、こっちは見たいと

――とても面白かったし、むしろとても記憶に残りました。一般人の入口としては効果的だったと思います。

北村 それはよかった。あの本の担当の先生もおっしゃりたいことが沢山あったのに、解説って限られてしまう。他にも伝えたいことがある時こそデジタルの出番です。物理的制約がなくなりますから。

――紙媒体を作っていると本当によくわかります。最近はその補うのにQRコードを使っています。情報を精査するのは、紙の良さでもあり限界でもあると思います。

北村 動画系のSNS、YouTubeをやっていますが、短い動画は作っていないかったです。例えば展示の紹介をチラシと文章だけでフェイスブックやツイッターにアップするのですが、絶対数が増えない。フォロワーの先に延びていかない。でも、卷子が動く短い動画をツイッターで流したら、それまで二千とか三千しかなかったアクセスが一週間で四万きました。ただ卷子が動くだけで(笑)。やっぱり動かなきゃと思いましたが。若い人に合わせるというわけではありませんが、目にとまりやすいというのは事実です。

――情報は人の目にとまらなさと意味がないです。しかも若い人に興味を持ってもらわないと未来がありません。

北村 古典を面白いと思う若い人は絶対いるはずなんです。ですから、その入口ですよ。目にとまる入口を考えたいですね。

北村啓子さん

国文学研究資料館 准教授
うどん(香川)県高松市出身。絵にかいたような理系女子。奈良女子大では物理を専攻。素粒子論や一般相対性理論などの研究をしていた。物理数学の計算で使ったのがコンピュータとの出会いだった。NECのソフトウェア生産技術研究所で、いかに効率よくプログラミングするかという研究テーマの中でも自動プログラミングに携わった。自らは人文系学問が苦手だったが、コンピュータを苦手とする人が多くいるところの方が可能性が無限ではない、国文学研究資料館に飛び込んだ。

高尾駅 駅長は立川人

「関東の駅百選」のひとつ 由緒ある駅舎

駅長の中込正夫さんは山梨県にお住まいがあります。
でも、今は立川から高尾駅に通っていらっしゃる。
立川人とうかがって、高尾駅に行ってきました。

小学生の頃から電車の運転手さんになりたくて、昭和57年度国鉄最後の採用で現在のJR東日本に入社。新宿駅のホームで働きたいと思っていたら、偶然にも実現し、始まりは新宿駅。約13年勤務して、平成10年4月1日八王子支社創設時に、上司の「勉強しに来るか」の声かけで呼ばれ「契約・経理」を勉強。契約と名の付くもの、ありとあらゆるものを担当。今、駅長を務める中、当時勉強したことに無駄は1つもないと感じているそうです。5年経て、立川駅に助役として異動。平成15年から20年、ちょうどecute立川が開業する時だったそう。最初は泊まりの助役、次に工事助役。ecuteができるので工事に特化した助役で、やがてそれらを取りまとめる総括（今でいう企画助役）へ。5年経ったところで、支社に戻られ企画人事に就く。約1000人の駅人事を4年担当したのち、セレオを展開するJR東京西駅ビル開発株式会社（現・株式会社JR中央線コミュニティデザイン）に転出。総務人事を約4年勤めて、甲府の地区センターへ所長として赴任。4年後、現在の高尾駅長に。

駅の話は面白い。みんなが毎日使う電車やホームなのに、表側からは

その仕事の裏側がよく見えていない。国鉄時代の面白さ、JRになる時のこと、JRとなって国鉄時代とはまったく異なる会社になってからのこと。かつての新宿駅は、多くの番線を担当するのも職人の世界と同じだったとか。山手線外回りと黄色い各駅停車の番線から新人の仕事は始まったのだとか。最低1年勤めると、山手線内回りに昇格したのだという。一足飛びに特急あずさのホームを担当できるわけではなかった。みどりの窓口も改札も車掌も全部そうだった。現在はどうでも希望できる時代になった。



高尾駅長 中込正夫さん

た。「駅から希望すれば新幹線の車掌にも運転手にもなれる時代」だと言う。もちろん行った先では猛勉強して国家試験を通らなければならないが。その希望も多いのだ。



高尾駅。1901年に開業、2021年に120周年を迎えた。「関東の駅百選」に選ばれている駅舎は、全国でも珍しい寺社建築の佇まい。1927年大正天皇御大喪の折、大喪列車の始発駅として「新宿御苑仮停車場」の仮設駅舎を移築したもの。駅の所在地が当時は「東京府南多摩郡浅川村」だったので、駅名は「浅川駅」でした。昭和36年に現在の「高尾駅」に改称されます。駅構内にかつては皇族が休憩に使われる貴賓室もありました。JR中央線の各駅の姿がどんどん変わる今、高尾駅も建造物が古くなり橋上駅舎化が計画されているそうです。いろいろお話をうかがいましたが、なんといっても中込さん、声がすばらしい。構内アナウンスで何度も賞をいただいているということでしたが、納得です。



新宿御苑仮停車場の写真



駅舎の記念めぐい



高尾駅北口駅舎



中込駅長のコレクションから 駅長室だけでなくホームから見えるところにも陳列されている



えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 羽衣町・錦町・柴崎町 のお店です。	
羽衣町	赤松タバコ店 524-7852 BB TAKAOKA 521-0236 まごころ銘茶 狭山園 527-0146 お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267 そば たかや 595-6922
● 錦町	鳥料理 くし秀 522-7692 寿司勝 522-4874 イタリア料理 トラットリア ドン シェ 512-8735 中国料理 五十番 522-7472 一六珈琲店 527-1680 手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 524-3190 new gyoza 1059 餃子天国 526-2283 パー パル アラディ 523-3917 CAFE SOMMEILLER 527-1440 中国整体院 529-1088 日本クッキングスクール 522-3440 元祖5本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616 ホテル日航立川 東京 521-1111 美容室 アリス 525-1100 FALCO hair 528-2389 N HAIR WORLD 523-5336 創作料理 cafe & bar 厨〜kuriya〜 595-7449 立川駅泌尿器科皮膚科クリニック 548-8802 TTM (株) 524-5787 Bakery Café Crown 526-2226 日本空手道 佐藤塾 548-7460 三田花店本店 524-4187 いわさき痛みの整骨院 529-5123 にしやま薬局 525-9212 たましん RISURU ホール 526-1311 たましん 錦町支店 528-0511 カレー店 CHOTA 525-1004 パン工房 グラティア 512-8667 そば処 高尾亭 522-2710 Natural Food Restaurant シェいなば 529-5921 Garden & Crafts café 0120-412-877 至誠学舎立川 527-7734 至誠ホーム 527-0031 至誠介護相談センター 527-0321
● 柴崎町	諏訪神社 522-2968 毎日新聞社グループ (株) 毎日広告社 522-6121 パスタビーノ はしや 521-3386 高島ビル 526-0111 Hair Room MOON ZETTON 523-0961 南武堂剣道具店 527-0197 ビジネスホテル 小沢屋 523-0388 おしゃべりカフェ トーク・スペース 527-1636 ESBI 立川南口店 526-2947 (株) 一心堂 527-3777 すがの歯科 540-2675 あすなろクリニック 529-2756 ビストロこづ 525-9929 入船茶屋 524-6266 串揚げ割烹 トントン 524-4521 不動産 コマツホーム 525-5811 芹沢ガラス店 522-3065 かみゆい処 わ 522-8202 ホテル ほまれ 523-0588 ヘアサロン オオスキ 528-0809 中国四川料理 山城 512-8356

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我淨」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我淨は
スマホアプリ「スカパー！番組表」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

春も火事が増えるシーズン

春は火災の増える季節です。電気関連の火事も多いそうですが、今日は日常の危険を立川消防署で、実験を通して教えてもらいました。布の素材別燃え方実験では、サンプルにレーヨンのような燃えやすい素材、綿、マスクに使われる不織布、カーテンに使われる防火製品を。『着衣着火』と言われますが、着ている衣服に火が燃え移って燃え上ってしまう現象のこと。燃えやすい石油製布の実験を見て怖くなりました。火を近づけるとたちまちに溶けてしまいます。これでは脱ぐこともできないうちに溶けて肌にべったりです。綿も燃えやすいけれど、叩けば燃え広がりにくい。不織布マスクも怖いですね。防火製布のエプロンをつけてキッチンに立つとより安心です。

可燃性ガスによる爆発も近年ニュースになっていました。フロンガスではなく可燃性ガスが使われるようになりましたから、缶に残っているガスに静電気が引火して爆発します。ゴミ出しにはガスを使いきってから出しましょう。こちら怖い収斂火災。鏡や水が入ったペットボトル、特に炭酸が入っているような表面に凸凹のないボトルが太陽の光を集めて、火がないのに火事を出してしまう。意外に多い火事の原因だそうです。10倍くらいの拡大率だと比較的近いところで焦点を結びますが、2倍くらいだと部屋の窓を越えて外で光を収束します。そこに燃えやすいものがあると、そこから火事になってしまうということです。真夏の日差しだけでなく、春先にも気をつけたいですね。

コロナも5類になりますが、まだまだ感染症対策のアルコールは各所に用意されていますよね。この手指消毒用アルコールも消防法の危険物。炎が青いこともあるので、火がついていても気づきにくい。乾燥している時期です。注意して毎日を過ごしましょう。



可燃性ガスの爆発実験 爆発と同時に炎が出ています



消毒用アルコールも2プッシュでこんなに燃えます



火気厳禁には赤字で注意喚起が記されています

立川駅南口の稚児行列

3月28日、今年も立川南口の風物詩「真如苑の稚児行列」が行われます。どこか懐かしいメロディと共にお稚児さんの装束を身に着けたお子さんたちが南口を練り歩きます。どうして3月28日？ この日は立川で立教された真如苑の開祖 伊藤真乗様のお誕生日。お稚児さんたちは南口から諏訪の森を通して、真如苑総本部まできれいな列を作って進みます。まだご覧になったことのない方は、足を運ばれてはいかがでしょう。かわいいですよ！



稚児行列 2022年3月28日の様子

猫のたけしがかわいいです

2月22日は猫の日でした。猫の日といわずとも、猫好きの人の多いこと！ 実は南極地域観測隊の第1次隊と共に南極昭和基地に行き、越冬したのは犬たちだけではなかったのです。そう三毛猫のたけしも一緒にいました。「オスの三毛猫は航海に縁起がいい」というのが一緒にに行った理由だそうです。今年国立極地研究所は創立50周年。この機会に南極・北極科学館をちょっとのぞいてみませんか？もちろん科学館に行って現在の展示を見るのもいいですが、猫のたけしは過去の展示で、現在はwebで公開されています。国立極地研究所のHPから南極・北極科学館に進んでご覧ください。日本に帰って来た猫のたけしがその後どうなったか…。知りたい方はQRコードでもご覧いただけます。



写真：国立極地研究所



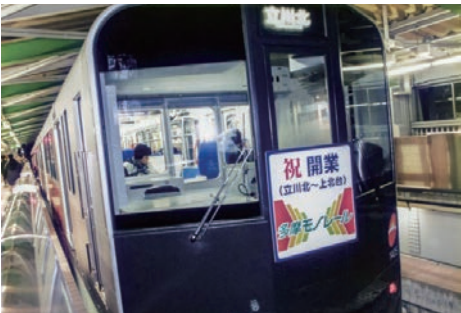
「宗谷」の甲板で、救命胴衣を着てくつろぐたけし

10億人ってすごくない？

2023年2月13日、多摩モノレールの乗客が10億人突破したというので行ってきました。本年11月には25周年を迎える多摩モノレール。長く延びて町と町、人と人をつないでほしいですね！えくてびあんでは記念すべき開業初日の始発取材していました。えくてびあんも創刊40年になりますからね。もちろん始発を押さえます。かつての日を思い出しながら写真をご覧ください。



10億人突破の日、号外が配られていました



一番電車のヘッドマーク



開業初日、始発の1番切符 (1998年11月27日撮影)



号外はこれ！



こんな日もありましたね (2015年撮影)



こんなシーンもありました

表紙

桜吹雪、花吹雪（富士見町）

今年は春が早いと感じる方も多いでしょう。2月10日には立川でも雪が降りましたが、3月に入って暖かい日が多く、東京の桜の開花は3月16日、満開予想が24日と平年より1週間も早いのです。今号がお手元に届くころには、立川のソメイヨシノもきっと見ごろでしょう。桜は入学式につきものでしたが、今年はマスクなしの卒業式を祝うかのよう。寒空に黒々とした幹や枝から、葉より先にほんのり桜色の花芽が出て、時間と共に硬い蕾が緩み、やがてきれいに花開かせます。ソメイヨシノはいくつもの花がかたまって咲くのでより美しい。チラホラと花びらを散らすのもまた趣があります。「散る桜」と言えば、良寛和尚の『散る桜 残る桜も 散る桜』という句が有名です。今を盛りと咲き誇る花もいずれは散っていきます。寿命があるからなお美しく、尊く感じられるのでしょう。今を大切に生きたいですね。

かたこと

◆1年経ちましたが、戦いは止みそうもありません。大地震の被害も大きくなるばかり。グローバル、グローバルと謳った世界ですから、今こそ人類を、地球を、宇宙をみんなで守りたい、そう祈る毎日です◆46億年も前からの地球を探り、気候変動などを観測・研究してきている国立極地研究所。今年は創設50周年にあたります。立川に移転して14年。今回はwebで見ることでできる展示をご紹介します。南極・北極科学館も通常開館しています。立川のおススメポイントNo.1にぜひ足をお運びください◆連載中の国文学研究資料館インタビュー。今回は国文学の中のデジタル女子。それも半端ないリケジョでした。北村先生のAR、VR技術をもってすれば、えくてびあんも、もっともっと興行も幅も広がるのかなと思ひながらお話を聞いていました。紙媒体をあきらめるのではなく、デジタルとどう融合するか。ARと紙には親和性があるって素敵です◆BQシーズンに入ります。タチヒビーチは立川市にしかないと思っていたらタチヒビーチ相模原、タチヒビーチNARAもあるそうです。いずれも砂鉄を抜いた真夏でも熱くない砂（タチヒサンド）を使っているのだとか。ビーチスポーツにはバッチリです◆春はお別れや出会いの季節でもあります。多くの方にお目にかかるこの時、また1つえくてびあんも成長していきたいと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん 〇

4月号 第39巻 通巻457号

令和5年4月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 ダイオーミウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。



ブルースター、アジアンタム、シクラメン 花、花器とも大森良子
入口付近に並べられるしろがね農園の野菜

私の立川 私と立川

12

スープカフェなんでもない日の穏やかな日々

「なんでもない日」の店長まっちゃんに、初めて会ったのは二〇一三年。知り合いの紹介で、「スープカフェを開店したいから、しろがね農園の野菜を使わせてほしい」と挨拶に来られたのです。そのときの印象は「こんなにか弱そうな方が、お店などできるのかな」でした。

それは、私が畑仕事の拠点を立川に移しつづけた頃でした。山梨の農家の長女として生まれ、山梨でも、主人の実家の畑がある立川でも、ずっと農業に携わってきました。農業はほぼ男性中心の社会です。そんな中、このまっちゃんとの出会いが、私の気持ちも大きく変えるきっかけとなりました。

畑仕事は、正直言って大変です。野菜は思うように育ってくれません。だからこそ育てた野菜には愛着があるし、おいしい時に食べてもらいたい。食べ物で大事に思い、「地産地消」を目指すまっちゃんと、その思いは同じでした。かつては農業をやめたいと思ったこともありましたが、でも今は、自分が育てた野菜でまっちゃんがスープを作ってくれること、それを飲んでくれるお客さんの顔が見られて、「おいしい」と言ってもらえたり、野菜の説明ができたりすることが、本当にうれしい。お客さんとたくさん友だちになったのも、このお店があったこそ。スープにしてもらえる！と思うと、どんな手間のかかる農作業も重労働も、まったく平気。野菜作りが、大変さを超えて楽しくなりました。これからもこの立川で、少しでも良い土作りと有機肥料にこだわって、自分たちなりに頑張れたら、と思っています。

金土日、「なんでもない日」の開店日には、畑仕事の合間に時間があればお店に行き、私もスープや飲み物をいただいたり、お客さんとお喋りしたり。私自身のホッとすること大切のひとつと、大切な場所になっています。まっちゃん、これからもよろしくね！